

興南高校56期 特別進学コース

新垣 宏太

同志社大学

文化情報学部へ進学

神森中学校出身

男子ハンドボール部所属

2019年全国高校総合体育大会ベスト4



* 難関大の指定校を考えて

入学前から難関大学の指定校を狙っていて、常にいい成績を修めて大学の選択肢を広げようと思っていた。入学後は部活をしている分、自習時間が短くなるので授業で理解することを心掛けた。ハンド部はテスト前に遠征があったりするので、勉強道具を持っていき、宿舎で勉強したこともあった。

— 興南で成長できた事は? —

時間の使い方が成長した。中学のときはやるべきことを後回しにすることが多かったが、高校は時間が限られているから、有効活用するために、計画的に物事を進め、うまく文武両道を実現できた。

男子ハンド部ではレギュラーメンバーに入り、高3の10月まで部活をし、勉強面では特進コースで席次4番以内に常に入ることができた。特別進学コースは、高いレベルで部活と勉強の両立ができるので、両方を大切にすることができた。

* 興南ハンド部を選んだ理由

10年前、美ら島総体の際に興南のハンドボールを目の前で見た。カッコいいなと思い、すぐにハンドボールを始めた。

中学のときに県選抜に選ばれたことや県外の大学進学の可能性も考え、興南への進学を決めた。

高校3年間で1番印象に残っている試合は高校総体の準決勝。勝てば全国決勝へ駒を進めることができる大事な一戦。相手は春の王者で中学時代でも闘っていてライバル的なチームだったが負けてしまった。

試合後のミーティングで照屋先生が泣き、自分も感情が込み上げてきたのを覚えている。もっと同じチームでハンドボールを続けたかったと試合の反省点が頭に浮かんで悔しかった。でも全国でのこのような経験は興南に入学しなかったらできなかったと思うので、興南高校に進学を決めて正解だったと思う。

— これからの目標は? —

今は大学で数学と情報の教員免許を取得して、先生になる道を考えている。特に情報処理をできるようになって、科学的にハンドボールの分析を行い、指導できるようになりたいと考えている。ただ大学でやりたいことがたくさんあるので、色々挑戦してみても将来の進路は決めようと思っている。



興南学園